生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	痛みセンターを受診した患者の疼痛改善に関する予後因子の検討		
1.研究の目的と方法	本研究は、慢性的な痛みを持つ患者さんを対象に、治療後の痛みや生活の質、身体的・心理的状態などがどのように変化するかを明らかにすることを目的としています。附属病院の診療記録（カルテ）および診療時に回答いただいた質問票を用いて、運動療法や心理療法などの治療内容と症状の変化との関連を検討します。さらに、痛みの強さや健康関連 QOL など、異なる評価尺度による改善の程度が一致するか、またそれらが時間とともにどのように変化するかについて検討します。あわせて、これらの変化と患者さん自身による全体的な改善の評価との関連を解析します。 これらの検討を通じて、慢性疼痛に対する治療効果を多面的に評価し、より個々の患者さんに適した治療方法や診療体制の改善に役立てることを目指します		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2018 年 1 月 1 日～2024 年 9 月 30 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院ペインクリニック外来を初めて受診された方で先行研究：26-230(7735) 難治性疼痛および慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価に参加されていた方		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、記載いただいた疼痛スコア(不安や抑うつの心理評価を含む)、運動療法の実施回数など	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 また、過去の先行研究(難治性疼痛および慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価)で得られたデータを使用します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　麻酔科学講座
		氏名	中村　瑞道
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　麻酔科学講座 大野　浩次郎	

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 12 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学麻酔科学講座 研究責任者：助教　中村　瑞道（なかむら　みずゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040、対応時間：平日 09：00～17：00）	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。